

山田養蜂場主催
第8回

ミツバチの一枚画コンクール

応募締切 令和2年7月15日(水)消印有効

応募者全員に参加賞を差し上げます

～ミツバチを描いて、SDGsについて考えよう、取り組もう～

地球上の生き物は、お互いに深い関わりをもって生きています。

ミツバチを描くことで、「自然環境の大切さ」を改めて考えたい、そしてより良い世界をつくる目標SDGsにも意識を向けたい。

そんな想いのつまったコンクールです。あなただけの素晴らしいミツバチの世界を自由に描いてください。



SDGsについて考えよう



ミツバチと自然環境の関わり



ミツバチは花から蜜をもらって返し、花粉を運んで受粉させ、植物が育つ手助けをしています。地球上からミツバチがいなくなると、スーパーに並ぶ約7割の野菜や果物が消えてしまうといわれているくらい、ミツバチは植物と支えあっている命をつないでいるのです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、貧困や不平等、気候変動といったさまざまな問題を解決することを目指す、世界共通の17の目標です。

SDGsに取り組もう



作品の応募が森づくりにつながる



山田養蜂場は、未来を担う子供たちに豊かな自然環境を受け渡そうと、国内外で植樹活動を行っています。本コンクールの応募作品1点につき1本の植樹を行います。今年は、昨年度の実績から応募作品数16,204本の苗木を、中国やネパールに植樹する予定です。

募集テーマ

「花とミツバチ」「自然の中のミツバチ」「人とミツバチ」など、自然環境の大切さや人との関わりを感じられるミツバチを描いた絵画。

賞

賞	一般の部		賞金10万円	賞状 盾 副賞
	大賞	小学生の部		
	幼児の部	1点		
優秀賞	一般の部	1点	賞金5万円	賞状 盾 副賞
	小学生の部	1点		
	中学生の部	1点		
	高校生の部	1点		
入選	一般の部	3点	賞金1万円	賞状 副賞
	小学生の部	2点		
	中学生の部	2点		
	高校生の部	2点		
	幼児の部	2点		

上記のほか、各部門で「佳作(賞状・副賞)」表彰あり
※海外部門の受賞者にも各賞あり

◎ 団体奨励賞

コンクールの発展に寄与した学校・団体に授与します。受賞した小学校には書籍のセット「みつばち文庫」、幼稚園・中学校・高校・画塾などには弊社商品をお届けします。

部門・対象

<国内作品>

幼児の部 小学生の部 中学生の部 一般の部

※一般は18歳以上で他の部門に属さない方。

<海外作品>

17歳以下の部 18歳以上の部

※年齢は応募締切時点とする。

学校、クラス単位など団体応募も歓迎。

応募作品について

- 作品サイズは四つ切画用紙(380mm×540mm)またはA3サイズ(297mm×420mm)の用紙。
※若干のサイズ違いは可。額入りは不可。油彩はキャンバスではなく紙ボードなどを推奨。(厚さ10mm以内)
- スケッチ、イラスト、貼り絵など表現方法および水彩、クレヨン、油彩など画材は自由です。
- 未発表で必ず本人が描いたものに限り、(HPや同人誌に掲載したものも発表とみなします)
※応募作品は返却いたしません。作品は写真などの記録に残して応募してください。

発表・表彰

◎ 発表

2020年10月下旬に朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、山田養蜂場の当コンクールウェブサイトで開催予定

◎ 表彰式

2020年10月24日(土)に、上位入賞者を招待し、浜離宮朝日小ホール(東京都中央区)で開催予定

応募方法

- 応募用紙に必要事項を記入して、作品の裏・右下に作品の天地がわかるようにしっかりと貼り付けてください。(1作品につき1枚)
- 別途、応募申込書を作品に同封の上、事務局までお送りください。
※団体で応募する際は、①園・学校・画塾などの所在地、②応募担当者(とりまとめて下さる方)のお名前、③応募者リストを記入した、団体応募申込書を必ず同封してご応募ください。
※園・学校・画塾など、代表者がとりまとめて応募いただく場合は、1名から団体応募となります。

詳しくはコンクールウェブサイトをご覧ください。
応募用紙のダウンロードもできます。

[URL]
<https://www.3838.com/ichimaiga>

一枚画コンクール 検索



問い合わせ・作品応募先

「ミツバチの一枚画コンクール」事務局
〒531-0077 大阪市北区大淀北1丁目6番29号 凸版ビル4階
「ミツバチの一枚画コンクール」事務局
TEL 06-6452-3125 10:00~17:00
土・日・祝日のぞく

主催:株式会社 山田養蜂場 ■共催:朝日学生新聞社

後援:玉川大学ミツバチ科学研究センター、国際児童図書評議会
日本国際児童図書評議会、JBBy、JHP・学校をつくる会

この活動は、
文部科学省の生涯学習の
一環として行っております。



山田養蜂場は
子どもエコクラブを
応援しています。



アピセラピーを追究する。
山田養蜂場
YAMADA BEE FARM